

総合職試験・一般職試験(大卒程度試験)・  
障害者(係員級)採用試験(大卒程度試験)共通 数学

以下の4つの問題のうちから3つを選択して、解答用紙に解答を記入せよ。なお解答に当たっては、考え方や途中の計算などもなるべく詳しく記し、何らかの定理を用いた場合には、その名前や内容も明記すること。

以下、 $\mathbb{N}$  を自然数全体の集合、 $\mathbb{R}$  を実数全体の集合とする。

問1  $\alpha, x_1, x_2, x_3, x_4, y_1, y_2 \in \mathbb{R}$  とし、

$$A = \begin{pmatrix} 2 & 3 & -5 & 1 \\ 1 & 1 & -1 & -2 \\ 1 & 2 & -4 & -2 \end{pmatrix}, \quad B = \begin{pmatrix} 1 & \alpha^2 \\ 1 & 3\alpha \\ 1 & \alpha \\ 1 & 4 \end{pmatrix}, \quad \mathbf{b} = \begin{pmatrix} 16 \\ 1 \\ 5 \end{pmatrix}, \quad \mathbf{x} = \begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \\ x_4 \end{pmatrix}, \quad \mathbf{y} = \begin{pmatrix} y_1 \\ y_2 \end{pmatrix}$$

とする。

- (1)  $\mathbf{x}$  を変数とする連立1次方程式  $A\mathbf{x} = \mathbf{b}$  の解を求めよ。
- (2)  $\mathbf{y}$  を変数とする連立1次方程式  $A\mathbf{B}\mathbf{y} = \mathbf{b}$  が解をもつための  $\alpha$  の必要十分条件を求めよ。

問2  $\mathbb{R}$  上の実数値関数  $f$  を  $f(x) = e^x \sin x$  で定める。

- (1)  $f(x)$  の1次導関数  $f'(x)$  および2次導関数  $f''(x)$  を求めよ。
- (2)  $n \in \mathbb{N}$  について、 $f(x)$  の  $n$  次導関数  $f^{(n)}(x)$  を求めよ。数学的帰納法を使って証明を与えること。
- (3) 閉区間  $[a, b]$  上でテイラーの定理を用いることにより、等式

$$f(b) = \sum_{k=0}^{4m-1} c_k (b-a)^k + R_{4m}$$

が得られる。ここで  $c_k$  ( $k = 0, 1, 2, \dots, 4m-1$ ) は実数であり、 $R_{4m}$  は剰余項である。 $R_{4m}$  を求めよ。

- (4)  $\lim_{m \rightarrow \infty} R_{4m} = 0$  を示せ。

問3 写像  $f: \mathbb{N} \rightarrow \mathbb{N}$  を

$$f(n) = \begin{cases} 2n & (n \text{ は奇数}) \\ \frac{n}{2} & (n \text{ は偶数}) \end{cases}$$

で定める。  $n \in \mathbb{N}$  に対し、  $f$  の  $n$  回の合成写像を  $f^n$  で表す。

- (1)  $f$  は全射か、全射ではないかを答え、それを証明せよ。
- (2)  $f$  は単射か、単射ではないかを答え、それを証明せよ。
- (3)  $A \subset \mathbb{N}$  を有限部分集合とする。命題

$$n > N \implies f^n(A) \subset f^N(A) \cup f^{N+1}(A)$$

を真とする自然数  $N$  が存在することを示せ。

- (4) 次の命題を真とする自然数  $N$  は存在しないことを示せ。

〈命題〉 任意の有限部分集合  $A \subset \mathbb{N}$  に対し、  $n > N \implies f^n(A) \subset f^N(A) \cup f^{N+1}(A)$  が成り立つ。

問4 正の実数  $a$  および自然数  $p$  に対し、確率密度関数  $f$  を

$$f(x) = \begin{cases} ax^{\frac{1}{p}}(1-x) & (0 \leq x \leq 1) \\ 0 & (x < 0, x > 1) \end{cases}$$

で定める。  $f(x)$  に従う確率変数を  $X$  とする。

- (1)  $p$  を用いて  $a$  を表せ。
- (2)  $X$  の期待値が  $\frac{1}{3}$  よりも大きいことを示せ。
- (3)  $X$  の分散を  $p$  を用いて表せ。
- (4)  $X$  の期待値が  $\frac{2}{5}$  以上という条件下で  $p$  を動かしたときの、  $X$  の標準偏差の最大値を求めよ。